

Syllabus Id	syl.-062461
Subject Id	sub-062004610
作成年月日	2006年2月11日
授業科目名	ドイツ語 A (German IA)
担当教員名	杉山和子
対象クラス	機械工学科4年生 / 電気電子工学科4年生
単位数	2学修単位
必修 / 選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	演習
実施場所	物質工学科棟3F M4HR / 電子制御工学科棟3F E4HR

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

ドイツ語は中欧・東欧諸国で広く使用されている、国際的コミュニケーションに有効な言語である。同じゲルマン語族として英語と似た文法・語彙体系を持ちながらより古い規則を残しているドイツ語は、比較的習得が容易であるとともに、他の欧米系言語理解の助けとなりうる。文化的背景、思考方法の違いなどにも注目しながら初級ドイツ語を習得

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

ドイツの作家の本、ドイツ・オーストリア・スイスに関する本を読む。

学習・教育目標	Weight	目標
	A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
	B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
	C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
	D	国際的な受信・発信能力の養成
E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成	
D:コミュニケーション能力を備え、国際社会に発信し、活躍できる能力		

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

1. ドイツ語初級文法、語彙、読解力の習得。
2. 自分自身と身の回りのことを簡単なドイツ語で表現できる。(会話・独作文)
3. ドイツの文化、ドイツ語の背景などの基礎的な知識を得、説明できる。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	オリエンテーション	プログラムの学習・教育目標、授業概要・目標、スケジュール、評価方法と基準、等の説明 ドイツ・ドイツ語の基礎知識。アルファベット	
第2回	発音	発音の規則、アルファベット	
第3回	Lektion1	文法事項(動詞の現在人称変化、疑問詞、接続詞、数詞など)	
第4回	Lektion1	文法事項(同上) 独作・会話(簡単な自己紹介)	
第5回	Lektion1	文法事項(同上)	
第6回	Lektion1	文法事項(同上)	
第7回	Lektion1	文法事項(同上)	
第8回	前期中間試験		×
第9回	Lektion2	文法事項(名詞の性、冠詞、habenの人称変化)	
第10回	Lektion2	文法事項(同上) 独作・会話(簡単な道案内)	
第11回	Lektion2	文法事項(同上)	
第12回	Lektion2	文法事項(同上)	
第13回	Lektion3	文法事項(不規則動詞の現在人称変化1、命令形、名詞の複数形)	
第14回	Lektion3	文法事項(同上) 独作・会話(身の回りのものを表現)	
第15回	前期期末試験		×
第16回	Lektion3	文法事項(同上) ドイツの社会紹介(冷戦・ドイツ統一・壁崩壊と国歌)	

第17回	Lektion 3	文法事項(同上)	
第18回	Lektion4	文法事項(不規則動詞の現在人称変化2、分離動詞、冠詞、時刻の言い表)	
第19回	Lektion4	文法事項(同上)	
第20回	Lektion4	文法事項(同上)	
第21回	Lektion4	文法事項(同上) ドイツの文化紹介(モーツァルトのオペラ)	
第22回	Lektion5	文法事項(前置詞、冠詞、人称代名詞)	
第23回	後期中間試験		×
第24回	Lektion5	文法事項(同上)	
第25回	Lektion5	文法事項(同上)	
第26回	Lektion5	文法事項(同上) ドイツの文化紹介(クリスマス・映画)	
第27回	Lektion6	文法事項(話法の助動詞)	
第28回	Lektion6	文法事項(話法の助動詞)	
第29回	Lektion6	文法事項(話法の助動詞)	
第30回	後期末試験		×
課題 出典: 独作文 授業時間中に課題を出題 提出期限: 授業中 提出場所: 教室 オフィスアワー: 水・木・金曜日(時間は要連絡) 非常勤室			
評価方法と基準 評価方法: 1. ドイツ語の文法・語彙・読解力・聞き取り等の習熟度を定期試験で確認 2. 自分に関することを簡単なドイツ語で表現できるかどうかを、課題(独作文)で確認 評価基準: 前期中間試験22%, 前期期末試験22%, 後期中間試験22%, 後期期末試験22%、課題(独作文)12%、欠席減点5%			
教科書等	関口一朗「ハロー・ミュンヘン」白水社		
先修科目	英語		
関連サイトのURL	東京ドイツ文化センター http://www.goethe.de/tokyo		
授業アンケートへの対応	黒板の説明を整理して書く。随時、学生の理解度を確認する。ペア練習を増やす。		
備考	1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。		